

行ってこーわい 会ってこーわい

「越智紀雄さん 純子さん」

能面作りとちりめん細工
日本の文化に親しむ夫婦



No. 127

北川原に住む越智さん夫婦。紀雄さんは能面作り、純子さんはちりめん細工で日本の文化に親しんでいます。

「古布のちりめんが好きで骨董市で見つけては集めていた」と話す純子さん。もともと着物が縫えるほど和裁が得意な純子さんは、集めたちりめんを使って25年ほど前に裁縫を始めました。ちりめんとは高級な着物などに使われる、細かなしぼのある絹織物。「柔らかくて裁縫しやすいから」と古布を好んで使う純子さんは、香袋や人形など可愛い作品を生み出し、年に1回の展示即売会のほか月に3回自宅で教室も開いています。

そんな純子さんに付き合っ骨董市に通ううちに、古いものに興味を持ったという紀雄さん。定年退職を機に、骨董市で見つけたものを使った木工や古い竹かごに何枚も和紙を重ねて柿渋を塗る一閑張りを始めました。さらに6年前からは教室に通い、ヒノキの角材をのみで削いで般若などの能面を作っています。顔彩を使うため気温の高い夏に色付けを行う能面作り。秋から春にかけての彫る作業に多くの時間をかけますが、「醍醐味は色付けにある」と紀雄さんが話すように立体感を出すための重ね塗りや墨で描く細かい作業に手間を掛けています。

今後作りたいのものを、「伝統面に加え、創作面も」と話す紀雄さんに「小さいおひなさまやつり飾り」とほほ笑む純子さん。作品作りを通してできた人とのつながりを大切にしながら、これからも挑戦を続けます。



- 1 作品を前にほほ笑む紀雄さん④と純子さん⑤
- 2 角材をのみで削った後は、パーツごとに型紙を使って彫っていく



▼編集後記

サムライジャパンのホッケー教室。子どもたちは目をキラキラさせて楽しんでいました。大好きな、夢中になれるものがあるって素敵ですね。新年度、夢中になれる何かを見つけたいです。(酒井)

Proud! Japan

※日本文化の魅力を伝えよう

年が明けて早いもので3ヶ月が経ち、新年度が始まりました。そんな私の目下の悩みは、花粉症。目をこすっては鼻をかみ、かんでほこすりをループする毎日です。花粉に悩まされる日々には、耐え、頑張って広報づくりに励みたいと思います。(蔭谷)

広告

エコ寅 **トラクターバイク等**
現金 買取り!
サビついて動かなくても大丈夫
出張査定 無料
電話 090-1328-7635
代表 松室 純平
〒791-3152 伊予郡松前町永田 84-1

広告

サンタ
アイスクリーム
アイス サンタ 検索
広告

広告

小学生のみんな
テニス
はじめよう!!
子ども体験テニス教室
参加者募集
参加費 無料
10名 限定
詳しくは WEBで
おかげさまで10周年♪
お得なキャンペーン実施中!!
コア・フリード
テニスチーム
☎ 090-9777-8611

広告

松前土建株式会社
正社員 募集中!
(TEL)089-984-1019 松前土建株式会社 求人